

令和5年度短期大学部（船橋校舎）における教育活動に関する
外部評価の実施について

このたび、日本大学短期大学部（船橋校舎）では、教育活動に関する取り組みについて企業の方に評価していただく外部評価を実施いたしました。

今回実施した外部評価の結果（評価票）につきましては、次ページ「令和5年度短期大学部（船橋校舎）における教育活動に関する外部評価実施要項」の後に「教育課程・学習成果」、「学生の受け入れ」の順でございますので御覧ください。

なお、評価結果につきましては、真摯に受け止め、今後改善策等を検討して改善に努めてまいります。

以　上

2023年12月15日

日本大学短期大学部（船橋校舎）

令和5年度 短期大学部（船橋校舎）における教育活動に関する外部評価実施要項

短期大学部（船橋校舎）内部質保証推進委員会

短期大学部（船橋校舎）自己点検・評価委員会

1 目 的

卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）、入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）の3つのポリシー及びこれらに対する取り組みの適切性・妥当性等に対する外部評価を行い、短期大学部（船橋校舎）における教育活動のPDCAサイクルを確立し、教育の質保証及び向上に資することを目的として行う。

2 評価項目・評価事項

① 教育課程・学習成果（ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー）

- (1) 授与する学位ごとに、学位授与方針を定め、公表しているか。
- (2) 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。
- (3) 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。
- (4) 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。
- (5) 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。
- (6) 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。
- (7) 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。

② 学生の受け入れ（アドミッション・ポリシー）

- (1) 学生の受け入れ方針を定め、公表しているか。
- (2) 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学選抜を公正に実施しているか。
- (3) 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。
- (4) 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。

3 評価方法

① 評価者による外部評価は、本部大学評価室からの依頼に基づき作成した令和4年度全学自己点検・評価報告書に令和5年3月31日までの状況を追記したものを基に、短期大学部（船橋校舎）教職員等との面談（協議会の開催）及び書面評価により行う。

② 評価者は、外部評価の結果、優れている点や改善を必要とする点等を評価結果としてまとめるとともに、外部評価項目の取組評価を4段階で評価する。

（A：十分できている、B：おおむねできている、C：一部改善が必要、D：できていない）

4 外部評価者

西野 孝之介（にしの こうのすけ）

株式会社SPACE-CREW 代表者，日本大学理工学部建築学科卒業生

5 実施スケジュール

① 令和5年10月 書面評価

自己点検・評価報告書を作成後，外部評価者へ書類送付により評価を依頼する。

② 令和5年11月 協議会開催（対面にて実施）

概要・現況説明（前回指摘を受けた事項についての改善進捗状況含む）を行う。

6 協議会開催日時・場所・出席者

① 日 時 令和5年11月14日（火）午前11時

② 場 所 日本大学理工学部船橋校舎

③ 出席者

(1) 外部評価者

(2) 短期大学部（船橋校舎）自己点検・評価委員長

(3) 短期大学部（船橋校舎）学務委員長

(4) 短期大学部（船橋校舎）入学試験実行委員長

(5) 学科長

(6) (船)庶務課長

(7) (船)教務課長

(8) 自己点検・評価委員長が必要と認める者

7 評価結果

① 令和5年11月下旬までに，外部評価者から評価結果を提出してもらう。

② 令和5年11月末，評価結果を短期大学部（船橋校舎）内部質保証推進委員会及び同自己点検・評価委員会において報告を行い，評価結果を踏まえて，次年度以降の教育の質改善に向けた対応を行う。

③ 令和5年11月末，短期大学部（船橋校舎）ホームページにおいて外部評価の結果を公表する。

8 所管課

(船) 庶務課

以 上

令和5年度 短期大学部（船橋校舎）における教育活動に関する外部評価
評 価 票

■教育課程・学習成果

	点 検 ・ 評 価 項 目	ABCD 評価(※)
①	授与する学位ごとに、学位授与方針を定め、公表しているか。	B
②	授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	B
③	教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開 設し、教育課程を体系的に編成しているか。	A
④	学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じている か。	A
⑤	成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	B
⑥	学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	B
⑦	教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行って いるか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っている か。	A

※ A：十分できている、B：概ねできている、C：一部改善が必要、D：できていない

⑧評価できる点（伸長すべき点、取組が効果を上げている事項など）
学位授与や教育課程の内容についてHPなどで十分に情報を公開しているように思われる。 教育課程の編成については約80%の学生を4年制大学に進学可能としており、総合的な教育課 程を構成して成果をあげている。また、学習の活性化などに対する措置についても以前から少人 数クラスやキャリア教育科目などのきめ細やかな教育を提供しており、アンケートなどの結果で も他学部に比べて学生の学習意欲が比較的高水準となっており効果を上げていると思われる。

⑨問題点・今後の課題（改善すべき点、強化が望まれる事項など）
教育課程や学習効果の把握評価については膨大な情報を選別してより一層分かりやすく学生や 関係者に情報公開することに改善の余地があるように思われる。加えて、近年導入を進めている ルーブリックや教職員研修会などによる教育課程のブラッシュアップにより学生の学習意欲を 伸長し、外部アセスメントの活用などによって学生の社会的な評価の強化に取り組むと良いよう に思われる。 また、少子化などの社会的な情勢を考慮すると、対外的なアピールのために本学独自の特色（例 えば、大学への編入率やスペシャリストの育成など）を打ち出した教育課程などの設置について 検討してもよいように思われる。

⑩報告書の記載内容に対する評価、コメント	ABCD 評価(※)
(1)点検・評価項目ごとに現状を記載しているか。その内容は具体的か。	A
(2)記述内容は適格かつ簡潔に記載されているか。冗長な文章となっていないか。	C
(3)誤字や脱字、わかりにくい表現はないか。	A

コメント	詳細について正確に細やかに記載されてるように思われます。他方、第三者が要点について把握することが困難であるという問題があるように感じられました。 年度ごとの取り組みなどの年表や箇条書きのリストなどがあれば評価の一助となるのではないかと思います。
------	--

※ A：十分できている，B：概ねできている，C：一部改善が必要，D：できていない

外部評価者氏名 西野 孝三介

令和5年度 短期大学部（船橋校舎）における教育活動に関する外部評価
評 価 票

■学生の受け入れ

	点 検 ・ 評 価 項 目	ABCD 評価(※)
①	学生の受け入れ方針を定め、公表しているか。	A
②	学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。	A
③	適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	B
④	学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	B

※ A：十分できている，B：概ねできている，C：一部改善が必要，D：できていない

⑤評価できる点（伸長すべき点，取組が効果を上げている事項など）
学生の受け入れ方針や入学者選抜制度について適切に公表されているように思われる。 また、志願者の経済的な問題や身体的な問題に対して公平性を保てるような取り組みも実施して大学の社会的な責任を果たしているといえる。引き続き、少子化による志願者の減少などに対応すべく定員の見直しや教員による高校訪問などの取り組みを継続してよりよい学習環境の提供に取り組んでほしい。

⑥問題点・今後の課題（改善すべき点，強化が望まれる事項など）
少子化によって志願者減少傾向は継続すると思われるため既存の広報活動の強化は当然のこととして、それら以外についても改善が望まれると思われます。例えば、短大としてより分かり易い教育課程の特色づけ、受け入れ環境の改善のために奨学金や在学生への表彰を強化、または、入学試験の無償化など、優秀な志願者確保の方策について議論をしてもよいように思われます。

⑦報告書の記載内容に対する評価，コメント	ABCD 評価(※)
(1)点検・評価項目ごとに現状を記載しているか。その内容は具体的か。	A
(2)記述内容は適格かつ簡潔に記載されているか。冗長な文章となっていないか。	B
(3)誤字や脱字，わかりにくい表現はないか。	A
コ メ ン ト	詳細について正確に細やかに記載されてるように思われます。他方、第三者が要点について把握することが困難であるという問題があるように感じられました。 年度ごとの取り組みなどの年表や箇条書きのリストなどがあれば評価の一助となるのではないかと思います。

※ A：十分できている，B：概ねできている，C：一部改善が必要，D：できていない

外部評価者氏名 西野 孝之介